

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2021/09/13号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

アジア需要不安も、メキシコ湾生産低迷で高止まり

NY原油先物相場は、1バレル=67～71ドルのレンジで高止まりした。ハリケーン「Ida」通過後の供給障害が長期化していることが下値を支えている。一方で、新型コロナウイルスの感染被害拡大で実体経済の減速に対する警戒感も強く、上げ一服ながら大きく値を崩すことは回避され、高止まりした。中国が戦略石油備蓄 (SPR) 放出計画を発表したことも、ネガティブ材料視されている。

メキシコ湾の原油生産回復が遅れている。同地区の生産は9月3日時点で93.33%が停止していたが、10日時点でも依然として66.36%が停止している。大型ハリケーンで施設が破損したことに加えて、原油漏洩も報告されており、ハリケーン直撃から2週間が経過したものの、6割強の生産が停止している異常な状態が続いている。一方、サウジアラビア国営サウジアラムコは、10月のアジア地区向けの公式販売価格 (OSP) を9月から1.30ドル引き下げた。新型コロナウイルスの影響で需要が抑制されていること、石油輸出国機構 (OPEC) プラスの減産縮小などで、販売先確保が難しくなっていることが窺える。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (9月3日時点) は、原油が前週比153万バレル減、ガソリンが722万バレル減、石油精製品が314万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレーム) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

ハリケーンの混乱続くが需要不安も強く、ボックス相場継続か

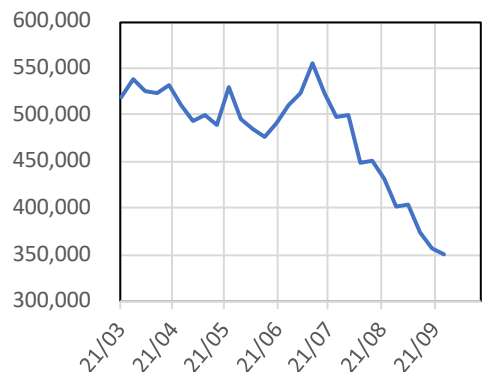
ハリケーン「Ida」によるメキシコ湾の供給混乱と新型コロナウイルスの需要不安が綱引きになり、前週に続いて67~71ドル水準をコアとした高止まりが続き易い。

ハリケーンの供給障害が予想以上に深刻であり、この問題が解決されるまでは、下値がサポートされ易い。徐々に原油生産は回復する方向にあるが、一方で原油生産よりも製油所稼働の正常化が先行して進む見通しであり、原油在庫のタイト感が残される可能性が高い。米原油在庫は5週連続で減少しており、今季最低を更新し続けているが、更に在庫の取り崩しが確認できると、60ドル台後半での高止まりが続こう。

一方、新型コロナウイルスの感染被害拡大は、依然として深刻な問題になっている。前週はサウジアラビアやクウェートが10月のアジア地区向けOSPを引き下げたが、米国でも大手金融機関が年後半の経済成長率見通しを引き下げるなど、景気回復ペースの鈍化が警戒される状況になっている。米国株も上げ一服感が目立ち、原油相場のみが急伸するようなリスクは限定される。ハリケーンによる需給の混乱の消化が進むと、需要不安の上値圧迫が再開されよう。ドライブシーズン終了の季節要因もあり、いずれにしても短期先高感は限定される。

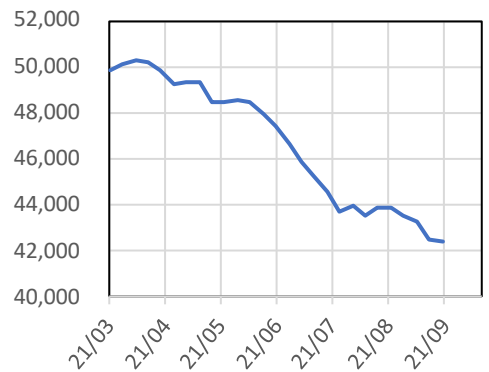
9月13日にOPEC月報、14日に国際エネルギー機関（IEA）月報が公表される。OPECは良好な経済成長率から石油需要見通しの下方修正を見送り続けているが、今報告で需要環境・見通しの悪化を追認する動きがみられるかが焦点になる。また、景気減速リスクに敏感な地合になるため、15日の中国8月鉱工業生産、16日の米8月小売売上高などにも注目したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



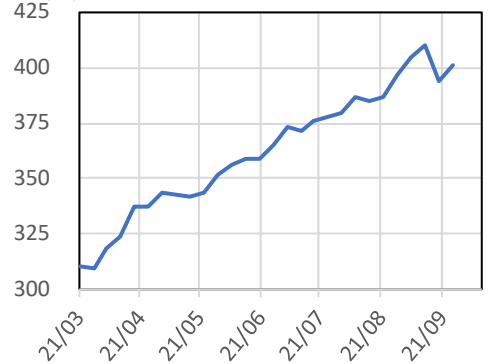
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

